

編集後記

旧会長の範士瀧口正義先生が、副会長への斎藤実先生への教で「本当の一本とは、相手の心を打つ一本なのだ。」と話されていましたが、そのことと同じ様な記事が剣窓の9月号（全剣連、遠藤勝雄範士）にありましたので、コピーを転載します。すでに読まれた方もおられると思いますが他の先生方へ・・・

広報委員長 武藤輝久男 広報委員 菅原信夫 鈴木三佳

第三種郵便物認可 月刊 剣 窓 令和元年9月1日

◇剣道の現状

①剣道人口の減少

少子化の影響で、初段登録者数が前年度より約3000名減少し、中学生の登録者数が8万人であったところ、高校生では4万人に半減した（平成31年2月、剣道研究会での報告）。また、伝統校と言われる中学校でも、団体戦のメンバーが5人揃わないといった状況にある。

青少年の競技力向上は学校の体育教育（特別活動）によって支えられてきたことから、体育教育の根幹にある競技人口の減少は、剣道界の基盤を揺るがす問題である。

②剣道修行のモチベーション

中学生が剣道部の活動を見学に来ても、荒稽古を見て怖気つくのか、部員たちの懸命さを見て尻込みしてしまうのか、規則に縛られるのが嫌なのか、入部しないケースが多いと聞く。

昔、例えば山岡鉄舟の1400人「立ち切り稽古」のように、荒稽古

③スポーツ的試合至上の価値観

青少年の大会を観察すると、普段から「当てる剣道」「試合で勝つ方法」を指導されているであろうことが見て取れる。また、試合で勝つための指導ができる指導者を求めて剣道教室に入会するケースが増えていることも耳にする。つまり、指導者・子供たち自身・保護者等の剣道に対するモチベーションが、スポーツ的試合至上の価値観へと偏向してきているのである。

以前、欧州圏の剣道人士が、「日本の剣道がこれ以上当てる剣道を求めるのであるならば、より当てる剣道を追求している国に師事する」との見解を表したことがあった。このことは、日本の剣道がスポーツ的試合至上の価値観へと偏向してきていることに對する評論ではなからうか。

◇指導者自身の修行と指導

①自分を磨く

古流には生きた教えがたくさんあ

る。「一文は無文の師、他流に勝つべ

きに非ず、昨日の我に今日は勝つべし」とある（『柳生家憲』）。すなわち自分よりも知っている事柄を持っている人は、どんな人でも自分の師となり得る。謙虚な気持ちで学び、決して他人と勝敗・優劣を競うようなことがあつてはならない。自分の未熟さや弱さを知り、自分自身に向き合つて日々の修行を怠ることなく自分を磨き、自分を高めていくことが剣術修行の真の目的であり、これが柳生家の根本であるとしている。こうしたことは、「剣道の理念」にある「人間形成の道」に直結した剣道の本質、剣道修行の目的、現代剣道の課題そのものであり、指導者一人一人が心に置くべきことであろう。

②慎独

中国の古典に「慎独」という教えがある。人間は自分一人だけである時こそ正しくあらねばならない。人前では正しくしても、一人になった時に弱い自分に負けることがある。心の修養のために剣道の修練を手段にしているのだから、試合で勝つことが剣道の目的になつてはいけない。より善い自分を創ることを考えていかなければ何も生まれないし展開もない。自分の弱いところを自覚して、これを超える「勇氣」が必要である。

③真正の勝ち

最近では、試合で勝つために誤魔化

した打ち方を教えがちである。試合に勝つことが悪いわけではない。誰も負けるための試合はしない。体勢を崩して勝ちを掠め取るようなことは本当の勝ちではない。崩れた相手の心と体の剣道に対し、自分の心気力一致、そして気剣体一致した、見事な一本！の剣道で勝ちを得る。これが「真正の勝ち」である。技の質を昇華させてゆくなかで精神性を高める努力を惜しまないことが大切である。これ等のことを教えるのが指導者としての使命であり務めである。

◇むすび

子供たちは指導者の言うとおりにやろうとし、指導者がやっているようにやろうとする。つまり、指導者は子供たちのお手本なのである。だから「範」を示す指導者自身こそが研鑽を積まなければならない。「師弟同行」と言われる所以でもある。こうして、剣道が子供たちに正しく継承されるのである。

「日本剣道形」の心の持ち様と正確な技の遣い方ならびに礼法・所作を「木刀による剣道基本技稽古法」の活用によつて「竹刀剣道」に繋ぎながら、これをくり返し指導して欲しい。

平成31年度印旛郡市第3ブロック中学校剣道大会結果

【期日】 令和元年5月26日(日) 【会場】 印西市立滝野中学校

【参加校】 印旛中学校 木刈中学校 小林中学校 原山中学校 滝野中学校
西の原中学校 南山中学校 桜台中学校 七次台中学校

【男子団体】 優勝：木刈中 準優勝：西の原中 第3位：南山中 七次台中

【女子団体】 優勝：西の原中 準優勝：木刈中 第3位：桜台中 滝野中

【1・2年男子】

優勝：宮島（西の原） 準優勝：山影（七次台） 第3位：西岡（木刈） 柴山（七次台）
敢闘賞：神原（原山） 幡谷（西の原） 末政（南山） 廣瀬（木刈）

【1・2年女子】

優勝：萩原（木刈） 準優勝：小西（桜台） 第3位：三好（南山） 水野（西の原）
敢闘賞：常前（滝野） 山口（西の原） 大坪（滝野） 曾我部（木刈）

【3年男子】

優勝：七里（木刈） 準優勝：青木（西の原） 第3位：白子（桜台） 本間（木刈）
敢闘賞：久保（印旛） 高山（七次台） 鈴木（木刈） 陸川（七次台）

【3年女子】

優勝：太田（七次台） 準優勝：橋詰（木刈） 第3位：宮下（滝野） 榊原（西の原）
敢闘賞：大下（木刈） 大瀬（西の原） 荒木（印旛） 尾池（西の原）